

緑肥を活用した水稻栽培現地研修会 開催要領

1 目 的

近年の肥料価格の高騰により生産コストが過大になっており、農家経営に大きな影響を与えている。加えて、水稻では一発型のプラスチック被覆肥料が多く利用されており、環境への負荷が大きな問題となっている。そこで、プラスチック被覆肥料の代替として、緑肥を活用することによる環境負荷低減およびコスト削減が期待される。

以上を踏まえ、緑肥を活用した水稻栽培について理解を深め、緑肥の活用拡大に向けた生産者相互の情報交換を目的とし、実証ほで現地研修会を開催する。

- 2 日 時 令和6年8月22日(木) 11:00~12:00
- 3 場 所 株式会社みとけ 水稻栽培ほ場 (裏面参照)
住所：京都府船井郡京丹波町安栖里萩尾
- 4 内 容 (1) 耕種概要について
(2) 生育調査の結果について
(3) 緑肥を活用した水稻栽培ほ場の見学
・生育状況の確認
・意見交換、質疑応答
(4) 今後の予定について
- 5 主 催 京都府南丹農業改良普及センター
- 6 協 力 株式会社みとけ、京丹波町農業技術者会議、雪印種苗株式会社
- 7 参 集 者 南丹管内水稻生産者
- 8 申込方法 南丹農業改良普及センターまで電話もしくはメール
TEL:0771-62-0665
E-mail:nanshin-no-nantan-nokai@pref.kyoto.lg.jp
(メールの場合、お住まいの地域と名前をご記入ください)

集合場所（株式会社みとけ 水稻栽培ほ場）の地図



住所：京都府船井郡京丹波町安栖里萩尾
(JR 安栖里駅付近)